

今こそ求められる、
地域・コミュニティの未来を
共創する力

カリキュラムの概要

地域共創型実践教育プログラム

学群プログラム

基盤教育科目【全学必修科目】

1年

「フィールドから学びや気づきを得る」
地域フィールドワーク

前期 | 1単位

↓

CP科目【選択科目】

2年

必要な基礎知識の習得
CP概論及び演習

前期 | 2単位

トップランナーから実践を知る
CP実践論

後期 | 2単位

3年

知識を技能に変える実習
CPフィールドワーク演習Ⅰ

前期 | 1単位

CPフィールドワーク演習Ⅱ

後期 | 1単位

+

CP関連科目【選択科目】

各領域の知識と理解を深める
CP関連科目

2領域以上から
7科目13単位以上
を選択必修

↓

コミュニティ・プランナーアソシエイト（卒業時に称号及び証書授与）

大学院プログラム

CP科目【選択科目】

1・2年

科学的手法の実践力・応用力の習得
CP特別演習

前期 | 2単位

効果的なプロジェクトの構想と提案
CPプロジェクト研究

後期 | 2単位

↓

コミュニティ・プランナー（修了時に称号及び証書授与）

地域共創型実践教育プログラムでは、コミュニティ・プランナー（CP）として、地域が抱える多様な課題の解決や、地域が求める多様なコミュニティづくりに貢献できる人材の育成を目指しています。



地域フィールドワーク



CP概論及び演習



CP実践論



CPフィールドワーク演習Ⅰ・Ⅱ

宮城大学 地域連携実践教育推進室
大和キャンパス
宮城県黒川郡大和町学苑1-1
〔TEL〕022-377-8649
（受付時間 平日9:00~17:00）
〔Email〕cp-suishins@myu.ac.jp

地域共創型
実践教育プログラム
全学群・研究科対象
フィールドワーク系科目
□ 地域フィールドワーク
□ コミュニティ・プランナープログラム

地域と
ともに
未来を
描く

東北・宮城の生きる力をつむいで、地域とともに歩む。

宮城大学では、地域の歴史・文化・資源を活かした
コミュニティづくりや、地域の人びととともに
課題解決ができる人材（コミュニティ・プランナー）の育成を目指す
教育プログラムを実施しています。
地域コミュニティの現場に触れ、自らの目でみて・聞いて・体験し、
学習することで、地域の人びととともに考えながら、
地域本来の良さを活かした、これからのコミュニティづくりの
実践手法を習得していきます。

学びの特徴

地域住民視点 での学び

専門家視点 での学び

社会で必要とされる実践的な能力を養成

- | | |
|-----------|---------------|
| ✓ 調査・分析能力 | ✓ ファシリテーション能力 |
| ✓ 企画力 | ✓ プレゼンテーション能力 |
| ✓ 実行力 | ✓ 事業マネジメント能力 |

自治体、兵庫県立大学との連携

フィールドは宮城県全域！ 地域のステークホルダーと連携したフィールドワーク

本プログラムでは、第一線で活躍する専門家とともに、自治体や企業・NPO等の
地域社会のステークホルダーと連携したフィールドワークを取り入れることで、
より社会に貢献できる実践的な能力を育成します。

兵庫県立大学と宮城大学の連携

阪神・淡路大震災及び東日本大震災という大きな自然災害を経験し復興に取り組ん
できた兵庫県立大学と宮城大学が連携し、2012年から、コミュニティ・プランナー
プログラムを構築してきました。被災地に立地する公立大学として、互いの強みを
生かしたプログラムを共同で展開しています。



これまでの 実践フィールドと科目

（2024年度時点）

※図中に示した科目名のうち、2024年時点では、
「地域 FW」「CP 概論及び演習」「CP 実践論」
「CPFW 演習Ⅰ・Ⅱ」を開講しています。